

平成30年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第九小学校 第6学年

教科等	(1)児童の実態から特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫※学力向上の具体的な手だてを示す	(3)補充・発展的な指導計画
国語	<p>①習得した漢字を活用できる力</p> <p>②批判的思考力 (A情報を正確に取り出す力 I比較・関連付けて読み取る力 U筆者の主張に対する自分の考え)</p>	<p>①読みや書き順、部首など基本的事項を授業で指導し、短文作成や熟語や同音異義語の調べ学習を、辞書などを活用し取り組ませていく。また、<u>日記を宿題とするなど、意図的に、習得した漢字を活用する場面をつくり日常化を図っていく。</u></p> <p>②ア・キーワードに線を引かせる。 ・キーワードをもとに一文にまとめさせる。 ・小見出しを付けさせる。 イ・各領域、各教科等において意図的・計画的に接続詞の意味と働きを指導する。(主に逆接・換言・理由・例示) ウ・筆者や作者が読者に伝えたいことについて、文章の根拠をもとに、自分の考えをまとめる場面を意図的・計画的に作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「九小版・家庭学習の手引き」及び自主学習ノートにより、積極的に家庭学習に取り組ませていく。 ・児童の多様な考えを尊重し、どの考えについても間違いではなく、自由に表現できるような環境づくりをしていく。 ・板書計画や学習資料を工夫し、児童の思考の流れがつかむことができるようにしていく。
社会	<p>①地名等についての知識理解</p> <p>②社会的事象の「目的・手段」「原因・結果」の関係を探える</p>	<p>①授業において地名が出てきた場合には必ず地図帳を活用した指導を行い、都道府県の位置・名称及びその特色を捉えさせる。</p> <p>②調べ活動後、「調べたこと」「感じ・考えたこと」「疑問」等観点に分けさせ整理させる。整理した後に「それはなぜか?」「そのために?」といった問い返しを行い意味付けへとつなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容で特に興味・関心が高いものについては、自主学習ノートで取り組む。 ・ホワイトボードを活用し、児童が考えた問題解決の過程を友達同士で共有できるように学び合いの活動の充実を図る。 ・教師の言葉かけで思考のゆさぶりを行うことで、深く考えることができるようにする。
算数	<p>①式の意味や数量関係を読み取り、演算決定できる力</p> <p>②多様な考え方を活用する能力</p>	<p>①問題文を理解し、数量の関係を数直線などで図式化し、演算決定できるとともに、立式の理由について筋道を立てて説明する場面を設定する。</p> <p>②自力解決後に<u>児童同士が、様々な考え方を話し合い、自分の考え方以外を使って問題を解く場面を意図的に設定する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉かけで思考のゆさぶりをを行うことで、深く考えることができるようにする。
理科	<p>①自分なりの考えで仮説を立て、課題解決に向けての方法を導き出す力。</p> <p>②観察・実験結果から考察し、自ら課題解決する力。</p>	<p>①仮説(予想・理由)を立てさせ、観察・実験の目的を明確にし、条件制御を基に実験方法を考えさせる。</p> <p>②結果を基に、「どんなことが考えられるのか」を自分の力でまとめさせる。</p>	

教科等	(1)児童の実態から特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫
生活		
音楽	①基礎基本の充実に取り組む。 ③和楽器の取り組みの充実。	①歌声や表現を意識した、全体の調和を目指した合唱指導。合奏曲練習における各種楽器の基礎指導の充実。読譜における階名やリズムの学習の充実。 ②三味線の基本の学習。(一中校区で研究授業予定)
図画工作	①自分なりの思いをもち、試しながら表現を工夫する力 ②様々な捉え方に気付き、自己の表現について考えを深めながら表現する力	①児童が自らの感じたこと、考えたことに合わせて工夫できるように配慮し、すべての題材と出会わせる。 ②自己や他児童の表現や美術作品などに様々な触れる鑑賞を行う。また、表現と鑑賞のより一層の一体化を図る。
家庭	①食住に関する日常生活に必要な知識と技能 ②家族の一員として、自分のできることを見付け、実践していく態度	①身近な家庭生活を振り返られるよう、発問や学び合いの活動を効果的に設け、家庭科の授業で学んだことを実生活に生かしていけるようにする。 ②授業以外にも日常的に、衣食住に関する話題を取り上げ、興味をもたせると共に、実践力を養っていく。
体育	①運動の特性を理解させ、自ら進んで体力を向上させようとする態度 ②課題をもち、課題解決に向けて運動の仕方を考えたり、工夫したりする能力	①単元の始めにオリエンテーションの時間を設け、映像を活用し、運動の特性を理解させるとともに、基本的な技能のポイントを理解させる。 ②毎時間の振り返りを丁寧に行い、次時に向けためあてを立てさせるとともに、自己の課題解決に向けて、児童が主体的に取り組むことができるような活動の場やグループでの学び合いの時間を効果的に設定していく。
特別の教科道徳	①道徳的实践力	①道徳の授業においては、意図的・計画的に価値葛藤の場面を設定し、議論を通して葛藤を克服していく過程を設定する。
英語活動	①コミュニケーション能力の素地 ②英語への慣れ親しみ ③外国の文化に対する興味・関心	①場面ごとに椅子の位置などの教室環境を工夫し、いろいろな人と交流できるようにする。 ②歌やチャンツを学習過程に効果的に設定し、リズムや音楽に合わせてインプット・アウトプットさせる。 ③オリエンテーションの場面で教材に関係のある日本と外国の写真等を見せ、共通点や相違点を見付ける活動を通して、外国の文化への興味・関心を高める。
総合的な学習の時間	①自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決していく力 ②情報活用能力	①問題解決的な学習を設定し、児童自らが学習問題を立てる場面を意図的・計画的に設定していく。 ②コンピュータや情報通信ネットワーク、新聞を活用させる。
学級活動	①自発的・自治的態度 ②自己を活かし、よりよい人間関係を築こうとする態度	①学級目標の実現に向け、児童に何をしていくかを考えさせ選択し、実践させていく。 ②学級会を充実させ、児童の話し合いでの「集団決定の場」を多く設定する。